

地球温暖化と エコライフの勧め



1. 地球の起源と地球温暖化問題
2. 増え続ける二酸化炭素と温暖化のメカニズム
3. 脱温暖化に向けて動き出した経済社会
4. 身近にできる温暖化対策(家庭編)



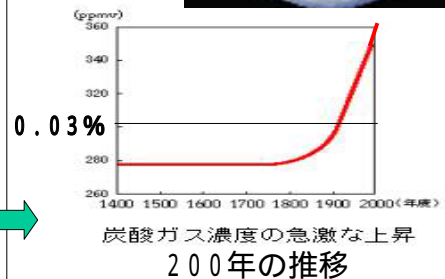
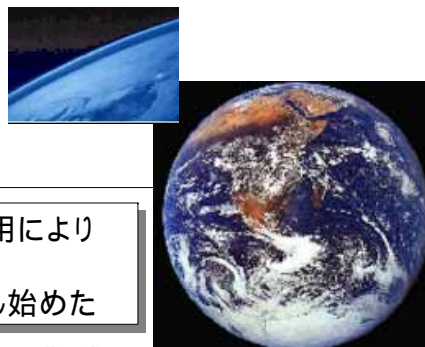
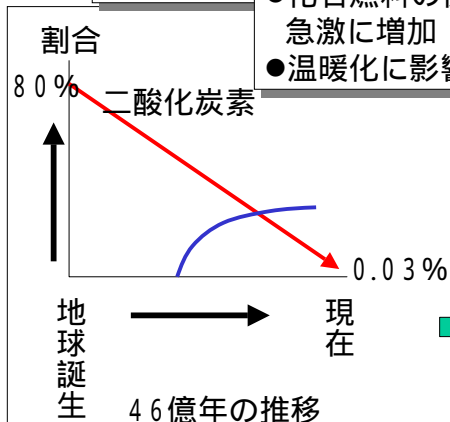
講師

「なにわエコ会議」環境教育・啓発部会長 宇田 吉明

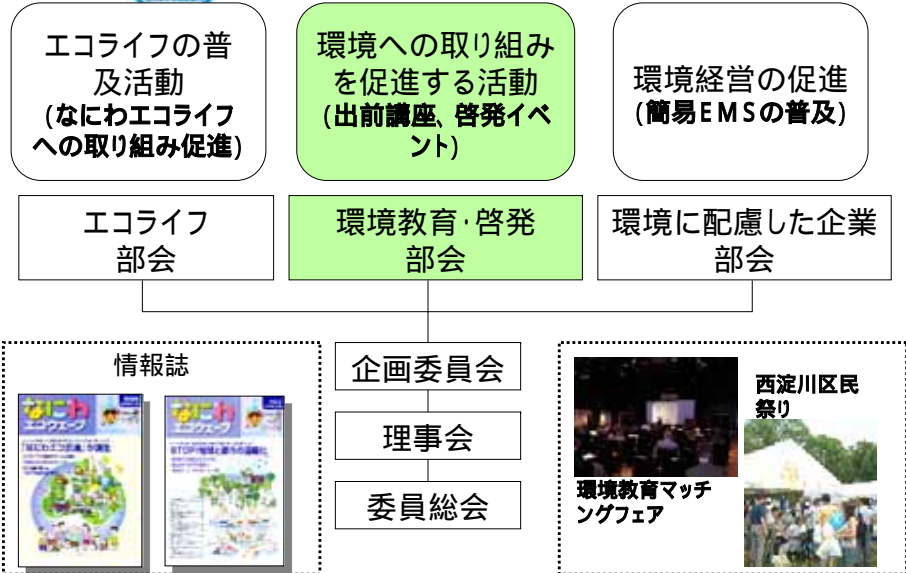
二酸化炭素の推移

- 長い年月を経て固定化
- 80% 0.03%
- この濃度が何千年も保たれてきた

- 化石燃料の使用により急激に増加
- 温暖化に影響し始めた

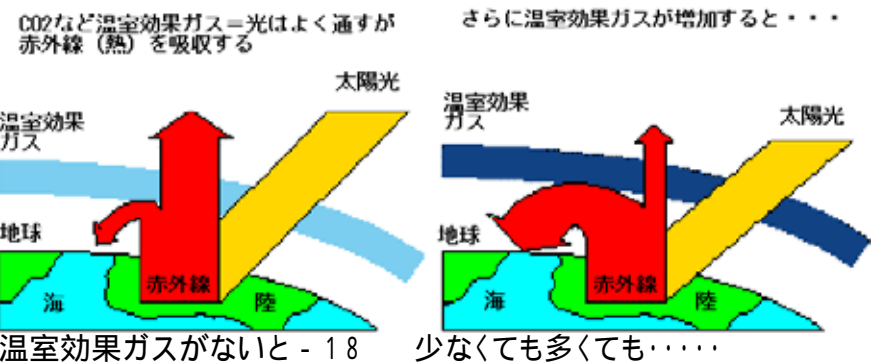


なにわエコ会議 ～止めよう地球温暖化～



二酸化炭素の増加と地球温暖化のメカニズム

温室効果ガス：
二酸化炭素(CO₂)、メタン、フロンガス等
わずか0.03%の二酸化炭素が生物にとって、よい気候を作り出している



異常気象と温暖化

急速な温暖化は想像もできない現象を引き起こす可能性がある



世界の海では、暖かい海流と冷たい海流からなる循環システムが成り立っており、これが地球の気候を安定させるのに役立っています。21世紀中に温暖化が急速に進むと、この重要な大きな循環システムをも、急激に、しかも大きく変えてしまう可能性があります。そうなると、世界の気候がどのように変化する、どんな現象が引き起こされるか、とても予測することはできません。



超大型の台風、ハリケーンが発生しやすくなっている



氷山の崩壊、溶解



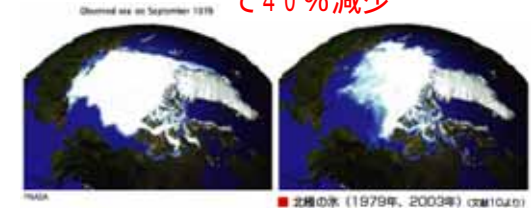
氷が溶けてなくなる！

南極

から静岡県と同規模の巨大な氷山が流出
海水の温度、海流に影響 異常気象の原因にも
2070年に消滅するとの予測も

北極

氷の厚さがこの数十年で40%減少



海面の上昇 / 食糧の被害



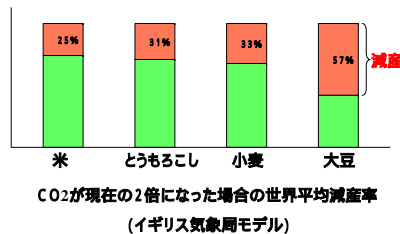
1997年朝日新聞

海面上昇、高潮、津波等による洪水



洪水、干ばつ、強風、冠水等の原因

地球温暖化による収穫への影響
～異常気象、耕作面積の減少など～



気候変動枠組条約「京都議定書」が発効

1990年比で2010年に先進国全体で二酸化炭素を5%削減することを決定
日本は6%削減を約束 現在8%の増加 今から14%削減

一層の削減努力が必要

国、自治体：施策の更なる推進 (新エネ促進や省エネ機器の普及など)
企業：環境経営による推進 (省エネ活動やエコ製品開発など)
市民：エコライフの実践 (節約やグリーン購入など)

<省エネ製品>
ノンフロン冷蔵庫
エコキュート
ハイブリッド車
クールビズ
光熱費ゼロ住宅

新エネルギー・自然エネルギーへの転換 ～ 二酸化炭素を出さないエネルギーへ～



風力発電



バイオマス発電



地熱発電

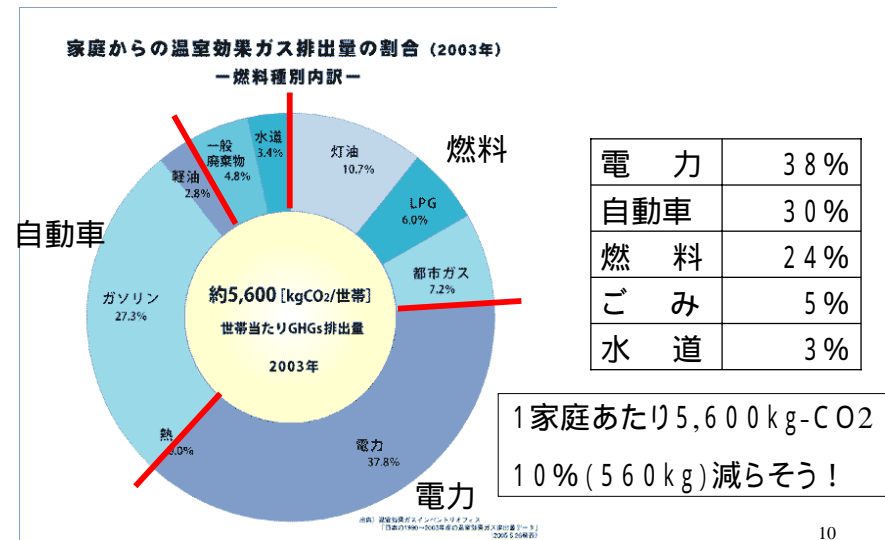


燃料電池自動車



ソーラー発電の街

家庭からの二酸化炭素排出量

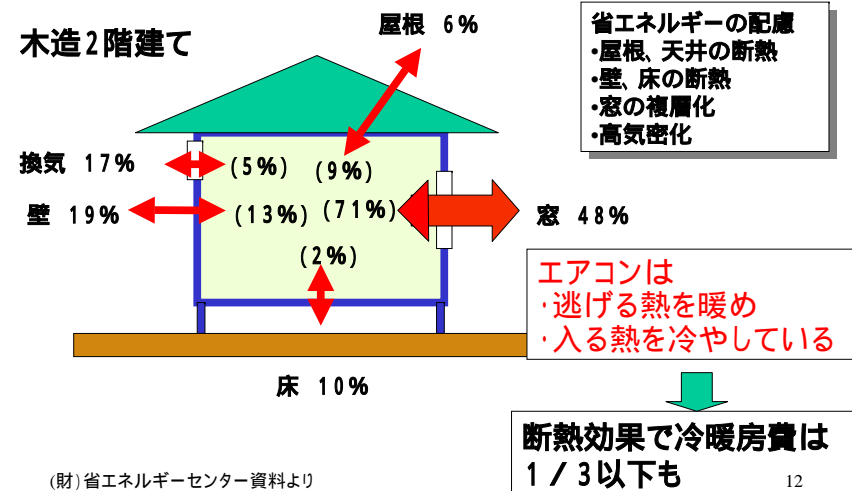


私たちにできること ～ 身近なエコライフ～

<p>家族が同じ部屋で団らんし、暖房と照明を2割減らす</p> <p>一緒にいれば暖かい 240 kgのCO₂削減 11,000円の節約</p>	<p>待機電力を90%削減する</p> <p>主電源を切る コンセントを抜く 待機電力の少ない商品を選ぶ 87 kgのCO₂削減 6,000円の節約</p>
<p>冷房を1 高く、暖房を1 低く</p> <p>着るものを工夫する 31 kgのCO₂削減 2,000円の節約</p>	<p>シャワーを1日1分間 家族全員が減らす</p> <p>お湯を出しっぱなしにしない 65 kgのCO₂削減 4,000円の節約</p>

これで420 kg削減 = 2万3千円の節約

住まいの省エネ ～ 家から逃げる熱(入る熱)～



買いものでエコライフ ～マイバッグ運動とグリーン購入～



1枚で61gの二酸化炭素削減(製造と焼却)
年間360枚 22kg/年
(省エネルギーセンターHPより)



買いものは公共の乗り物で

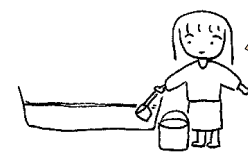


省エネマーク



いろいろな環境ラベル¹³

節水と打ち水で温暖化防止



風呂の残り湯利用

上水や下水の処理にも電力を使っています



雨水の利用

打ち水で都市を冷やそう!



打ち水
～都市のヒートアイランド対策～

1～2 の温度低下¹⁴

環境家計簿をつけよう!

- ・二酸化炭素の排出量がわかる
- ・取り組んだ結果が1ヵ月後にわかる
- ・得た気分
- ・エコライフ(もったいない)が普通になる



記入例

エコライフチャレンジシート 平成

項目	月	4月	
		今年	前年
電	使用量 kwh	247	282
	CO ₂ 排出量 (使用量×0.36) kg	89.3	102.5
	料金 円	5,308	
ガ	使用量 m ³		
	CO ₂ 排出量 (使用量×0.1) kg		
	料金 円		

前年の数値と比較

大阪市では「なにわエコライフ」事業を推進しています
旭区でも区を上げて取り組みませんか!

30年後の脱温暖化社会は?

